



おおとりちゅうがっこうだよ

大鳥中学校便り

だいはいちごう
第八号

学校教育目標 ～豊かな心を育み、社会どのかかわりを大切に～

よこはましりつおおとりちゅうがっこう
横浜市立大鳥中学校

〇感じる心(徳) 〇考える力(知・体) 〇行動する鳥中生(公・関)

こうちょう しんじょう ひろし
校長 新庄 広

横浜市いじめ防止啓発月間の取り組みについて

12月は横浜市 いじめ防止啓発月間です
横浜市いじめ問題対策連絡協議会

いじめをなくすために、私たちにできること
相手と心から向き合おう

相心

いじめ、困ったことについて、一人で抱え込まずに、まずはだれかに話してみてください。

24時間子どもSOSダイヤル
0120-078310

開設日・時間：365日、24時間
対象者：市内在住・在学の子ども及びその保護者
まずはお電話を。

24時間子どもSOSダイヤル

横浜地方教育委員会 中山区教育委員会 横浜市青少年支援連絡協議会 横浜市子ども支援連絡協議会 横浜子ども支援協議会 横浜市PTA連絡協議会 横浜市立学校校長会 横浜市 横浜市教育委員会

横浜市では「横浜市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめを防止するため、12月を「いじめ防止啓発月間」と位置づけ、様々な取組を実施します。「いじめ防止対策推進法（平成25年）」では、いじめを「当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの（第二条）」と、広くとらえて定義しています。これは「『いじめ＝心身の苦痛を感じる行為』を受けることによって、児童生徒の教育を受ける権利が侵害され、心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるだけでなく、生命又は身体に重大な危険を生じさせる」可能性があるからです。例えば、教室で何か発言しようとしたときに、その発言を馬鹿にされ、嘲笑されることが続くと、その児童生徒は、発言することが怖くなり、だんだん思ったことを言えなくなり、その児童生徒が持つ本来の活発さや明るさが失われていってしまうというようになっていく。これはその児童生徒の現在、そして将来にとって大きな損失である。故に「心身の苦痛を感じる行為＝いじめ」はなくさなければならぬ、ということです。

その考えに則り、以下の取り組みを行います。

<取組1>いじめ防止に向けたポスター・のぼり旗掲出

啓発月間の「ポスター」と「のぼり旗」を全市立学校、関係機関・団体、区役所等で掲示

<取組2>市営地下鉄での広告掲出
 市営地下鉄（ブルーライン・グリーンライン車内）
 にて広告を掲出し、いじめの相談窓口について周知

<取組3>いじめ解決一斉キャンペーン
 各学校で、子どもたちに無記名アンケートを実施し、
 学校いじめ防止対策委員会で点検・確認

大鳥中学校でも冬休み前に取り組み、複数の教職員
 で各アンケートを確認していきます。



啓発ポスター&のぼり旗



<取組4>「いじめ防止市民フォーラム」の開催
 *大鳥中学校校長も参加します。

- 1 開催日時 令和5年12月1日（金）14：00～15：35（受付 13：30）
- 2 場 所 横浜市役所1階アトリウム
- 3 テー マ オール横浜でつながり、広げる、いじめの未然防止の輪～いじめをなくすために、私ができること～
- 4 内 容
 - 児童生徒によるグループ協議
 - 児童生徒と大人代表によるパネルディスカッション
 市内小学生・中学生・高校生・大人代表が、「いじめをなくすために、私ができること」をテーマに協議します。
 - LEDビジョンで、「横浜子ども会議各区交流会」の様子について放映します。

保護者と学校との新たな連絡ツール『すぐーる』の先行導入と登録について

令和6年度より、横浜市立学校では家庭と学校との連絡に使用する新たな連絡ツール（アプリの名称：『すぐーる』）を導入します。これまで学校ごとに運用していた連絡ツール（『マメール』や『マチコミ』など）に代わり、全ての市立学校で同じ連絡ツール『すぐーる』を利用します。

本校では本日より、『すぐーる』の試験運用を開始いたします。学校からの各種お便りは『すぐーる』での配信に切り替えていきます。

また、その他の機能（欠席連絡やアンケート）に関しましても、保護者の皆様の登録状況を確認しながら活用してまいりますので、その他の機能が活用できる状況になりましたら、別途連絡いたします。それまではお便り等の配信のみ運用いたします。主旨をご理解いただき、ご協力よろしく願います。

11月に行われた行事から

中区中学校個別支援学級合同宿泊学習 11月2日(木)～3日(金・祝)

- <目的>
- 1 班行動や宿泊活動を通して、自立心や責任感、生活力を身につける。
 - 2 作業やレクリエーションを通して協力することの大切さ、皆で一つのものをつくりあげる達成感を養う。
 - 3 他校の生徒や教員と関わり合うことで、コミュニケーション能力の育成を図る。

好天に恵まれた秋空のもと、学習室の生徒は三浦YMCA グローバルエコヴィレッジに宿泊学習に行きました。

前年度に引き続き、中区五校の中学校の生徒が、それぞれ交じり合って班行動をします。初日は、各班で決めたルートで、ソレイユの丘を満喫しました。アニマルヴィレッジでは、カンガルーやカピバラなどの可愛い動物達と触れ合うことができました。宿舎についたあとは、楽しみにしていた夕食・入浴・自由時間！これらの時間で他校の生徒との距離感が一気に縮まったのではないのでしょうか。

二日目の朝食を食べた後は、最後のレクリエーションを集会室にて行いました。一人ひとりが大きな声で歌い、集会室に「世界がひとつになるまで」が響き渡っていました。レクリエーションはみんなが笑いあいながら、楽しそうに取り組んでいたのがとても印象的でした。

無事にすべてのプログラムを終え、十分に目的を達成することができました。これも、学校の授業や交流会でしっかりと準備をしたからだと思います。今回の合同宿泊学習での学びを、今後の学校生活でもしっかりと活かして頑張っていくことを期待しています。

